

第1回 抗ウイルス委員会 議事録

1. 日 時：2019年7月12日(金) 14:00~17:00
2. 場 所：TKP 大阪梅田駅前ビジネスセンター カンファレンスルーム 6A
3. 出席者：(順不同/敬称略)

三菱電機(株)	中津川 直樹 (管掌役員)
(一財)日本繊維製品品質技術センター	射本 康夫 (委員長)
大和化学工業(株)	古川 誠 (副委員長)
住化エンバイロメンタルサイエンス(株)	加藤 義晃
住化エンバイロメンタルサイエンス(株)	伊藤 瑤子
サシヒロ(株)	野村 健
(一財)カケンテストセンター	中曽根 寿明
(一財)ボーケン品質評価機構	室巻 良彦
(株)LIXIL	掛樋 浩司
大和化学工業(株)	木村 麻里子
東亜合成(株)	飯田 恵
(株)シナネンゼオミック	林 直樹
(株)タイショー テクノス	杉本 溪
積水マテリアルソリューションズ(株)	鈴木 太郎
大阪ガスケミカル(株)	岸田 透
(一財)ニッセンケン品質評価センター	村田 貴洋
(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	永井 武
(地独)神奈川県立産業技術総合研究所	石黒 斉
富士ケミカル(株)	松島 彰宏
富士ケミカル(株)	水口 裕之
大建工業(株)	宮崎 裕樹
(一財)日本食品分析センター	太田 知克
(一財)日本繊維製品品質技術センター	北畑 早紀
(一財)日本繊維製品品質技術センター	中嶋 絵里
(一社)抗菌製品技術協議会	平沼 進 (事務局)
(一社)抗菌製品技術協議会	永田 敏幸 (事務局)

(計 26 名)

4. 議題内容

1) 抗ウイルス委員会名簿の確認

- ・今年度から、大和化学工業(株)古川氏が抗ウイルス委員会の副委員長に就任された。
- ・3名が新たに加入となった(住化エンバイロメンタルサイエンス(株)加藤氏、伊藤氏、大和化学工業(株)木村氏)。

2) 第2回抗ウイルス委員会議事録の確認

3) 抗ウイルスマーク運用について

- ・ISO 21702 が5月に発行され、7/1 から抗ウイルスマーク運用を開始した。
- ・7/31 までに SIAA 事務局で受付した製品を1回目の登録製品として、一斉登録とする。HP 上での公開は、受付日の翌日以降となる予定である。
- ・非会員に関しては、SIAA への入会及び製品登録申請の受付が7/31 までに終了していれば、1回目のマーク登録が可能である。

4) 無加工品でウイルス数の減少が認められる場合の対応について

- ・ISO 21702 で試験を実施し、無加工品でのウイルス数の減少により試験成立条件を満たさない場合、SIAA 抗ウイルスマークの申請に影響を及ぼすことになる。そのような無加工品に対する救済措置を、SIAA として取り決めておく必要があるとの意見があり、議論した。

(参考：抗菌性試験の場合、無加工品自体に抗菌効果があつて試験成立条件を満たすことができない場合、お湯に浸漬する等の前処理を行うことを認めている。また、試験菌液の培地濃度を1/500NB よりも高濃度にして試験を実施することを認めているが、この場合はISO 番号無しのSIAA マークを表示する。)

- ・ISO 作成段階の検討試験において、無加工品でのウイルス数の減少による試験不成立のサンプルがあった可能性がある(QTEC で確認中)。そのサンプルを用いて、以下の条件について検討を進めていくこととした。

【検討条件①：接触時間】

→ISO 21702 の試験方法では、ウイルスと試験片の作用時間が24時間以下でも双方の合意があれば、接触時間を変更することが可能とされている。接触時間を短縮し(18時間や6時間等)、無加工品でのウイルス数の減少値を検証する。

【検討条件②：BSA 等のタンパク添加】

→0.3%、1.5%濃度等のタンパク添加により、ウイルスを安定化させ、無加工品でのウイルス数の減少値を検証する。

⇒以上の条件による検討結果を踏まえ、ISO 番号無しでのSIAA マーク表示を検討する。

5) 国際福祉機器展への出展について

- ・9/25~9/27に東京ビックサイトにて開催される「国際福祉機器展」に、SIAAが出展する。
抗ウイルス委員会メンバーにも説明員として参加の依頼があった。
- ＊現時点では、9/25：古川委員、9/26又は9/27：射本委員長又は村田委員が参加予定
- ・昨年度は、QRコードやインスタグラムを活用した宣伝効果もあり、介護士や福祉に関わる学生を中心に多く人に関心を持ってもらえた。
- ・一般の人も多く来場されるため、「菌とウイルスの違い」等もわかるような説明を入れた方がよいとの意見があった。パネルには、インフルエンザウイルス等のウイルス名も記載可能である。
- ・パネル案については、メール配信にて情報共有し、8/9（金）までにSIAA事務局に提出予定である。

6) リーフレット作成について

- ・細菌、真菌、ウイルスの微生物名を記載し、それらの比較情報（違い）を盛り込んだ内容にし、「消費者向け」の資料として作成する。
- ・抗ウイルス活性値は、日本語で表現する。
- ・「リーフレット作成分科会」を発足し、今年度発行を目標にリーフレット作成する。

【リーフレット作成分科会】

- ・分科会メンバー：射本委員長（QTEC）、室巻委員（ボーケン）、伊藤委員（住化エンバイロメンタルサイエンス㈱）、水口委員（富士ケミカル㈱）、宮崎委員（大建工業㈱）、中津川管掌役員（三菱電機㈱）、中嶋委員（QTEC）
- ・分科会予定：2019年8月27日（火）14:00~17:00
（開催場所：QTEC 神戸試験センター）

7) その他（連絡事項、質問等）

- ・SIAAマークの普及活動として、動画の掲載やHPの活用を進めていく。
- ・抗菌技術協議会の団体名称変更についての案があった。（例：（一社）SIAA等）
- SIAA会員へのアンケート調査も実施し、来年以降申請するかどうかを協議していく。
- ・ISO21702のJIS化について質問があった。
- JIS化については、今後の課題とする。JISを作成するのであれば、ISOとJISの試験方法が同等であるようにしていきたいと考えている。

次回予定：2019年11月13日（水）14:00~17:00

[配布資料]

- ・ 2019年度 第1回 抗ウイルス委員会開催案内
- ・ 2019年度 抗ウイルス委員会委員名簿
- ・ 2018年度 第3回抗ウイルス試験法委員会議事録（案）
- ・ 2018年国際福祉機器展パネル（案）
- ・ SIAA 抗ウイルス委員会資料①_190712_2019年度国際福祉機器展（ポスター案）
- ・ SIAA 抗ウイルス委員会資料②_190712_リーフレット案

以上

議事録作成：(一財)日本繊維製品品質技術センター

中嶋 絵里